

<< 母親に聞いた子どものポケット実態調査 >>

**子ども一人がもつ平均ポケット数は、
シックスポケットより一つ多い7ポケット。**

ポケット金額は、子ども一人あたり年間約 43 万円。出現回数約 120 回。
祖父母は「大甘ポケット」。両親は「辛口ポケット」。

博報堂 B a B U (Baby & Family Business) プロジェクトは、妊婦から 9 歳以下の子どもを持つ家族を対象とした、博報堂内の調査・研究プロジェクトです。1996 年よりマーケティングメンバーを中心にスタートし、常時、子育て家族の生活価値観、消費行動、情報接触態度など、生活意識の実態を調査してきました。

このたび、「少子化により、子ども一人当たりへの出資額が増加しているのではないか」という仮説を検証すべく、子どものポケット（子どもへの支出者）に関する調査を実施しました。その結果がまとまりましたので、ご紹介いたします。

調査の結果、少子高齢化の進む中、これまでは両親・父方祖父母・母方祖父母の 6 つ(シックスポケット)といわれていた子どものポケット数は実際にはもう少し多く、平均で 7 つという結果がでました。子どもを取り巻く市場では、新たな消費スタイルが生まれることが予測されます。

B a B U プロジェクトでは、今後も、「妊娠～出産～子育て期」という、女性のライフスタイルや消費行動に大きな影響を与えるステージをビジネス機会のチャンスと捉え、話題性の高いトピックについての調査研究や、商品・サービス・ブランド開発などの企画・立案・実行を通じて、社会全体で子育て環境の良質化に取り組む仕組みづくりをサポートして参ります。

<調査結果トピックス>

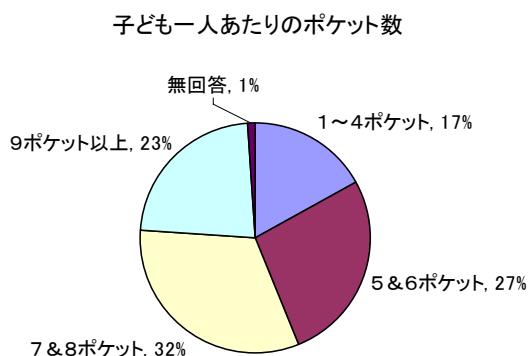
- 子ども一人がもつ平均ポケット数は、約 7 つ。
- ポケット金額は、合計して「年間約 43 万円の支出」。
- ポケット出現回数は、一ヶ月平均 10.1 回。これは 3 日に 1 度の割合で、年間約 120 回のプレゼント。
- ポケットの中で母親満足度が高いのは「祖母<母方>ポケット」。
- 祖父母は「大甘ポケット」。両親は「辛口ポケット」。
- 「イベント支出(お祝いポケット)」のトップは、祖母。母親ポケットは、「子どもが頑張ったご褒美に(ご褒美ポケット)」や「子どもの健康や発達のために役立つから(すくすくポケット)」がダントツ。
- 「大人のほうが子どもと一緒に遊びたくて(遊びたがりポケット)」や、「子どもよりも、大人である本人が欲しくて(自己中ポケット)」といった大人の都合が、ポケットの理由になることも。

<調査結果>

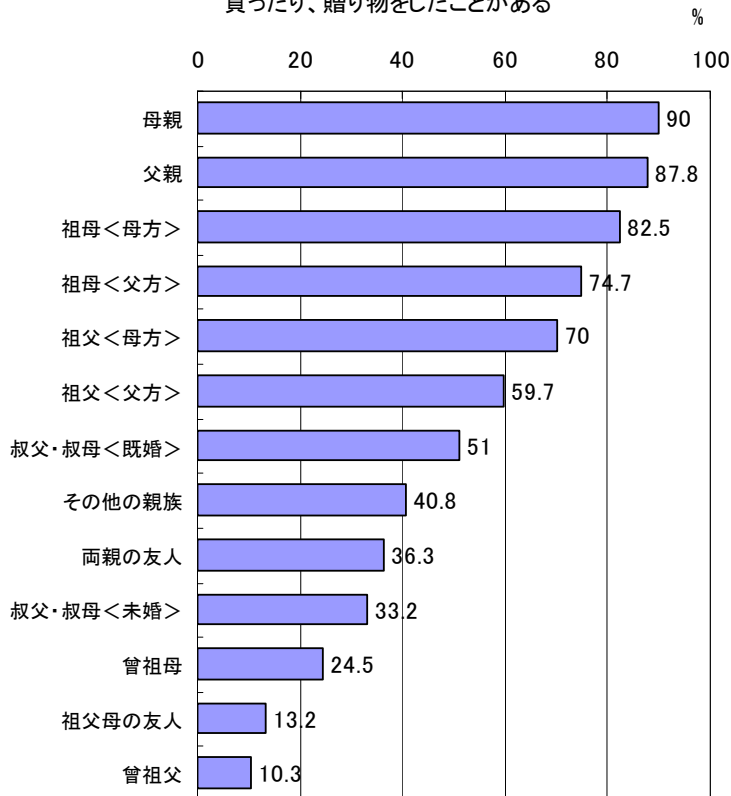
* 今回の調査では、食料品や日用品など日常必需品以外の商品(ご褒美のお菓子やおもちゃ、特別な外食なども含む)や、行事にまつわるお祝い支出を「ポケット」として数えています。

○ 子ども一人がもつ平均ポケット数は、約7つ。

調査の結果、日常必需品以外のモノを子どもに贈る人として、両親、父方祖父母、母方祖父母の6ポケットに、叔父叔母や、その他親族・両親の友人なども加わることで、子ども一人あたり平均して約7ポケット(6.83ポケット)を持つことがわかりました。祖母・祖父ともに、母方のほうが贈る確率が高くなっています。そして四世帯に一世帯(23%)は、9ポケット以上持っていると回答しています。



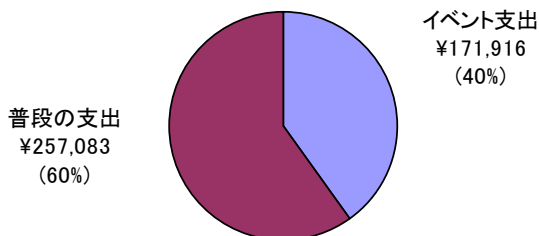
子供に、過去1年間、必需品以外の商品やサービスを買ったり、贈り物をしたことがある



○ ポケット金額は、合計して「年間約 43 万円の支出」。

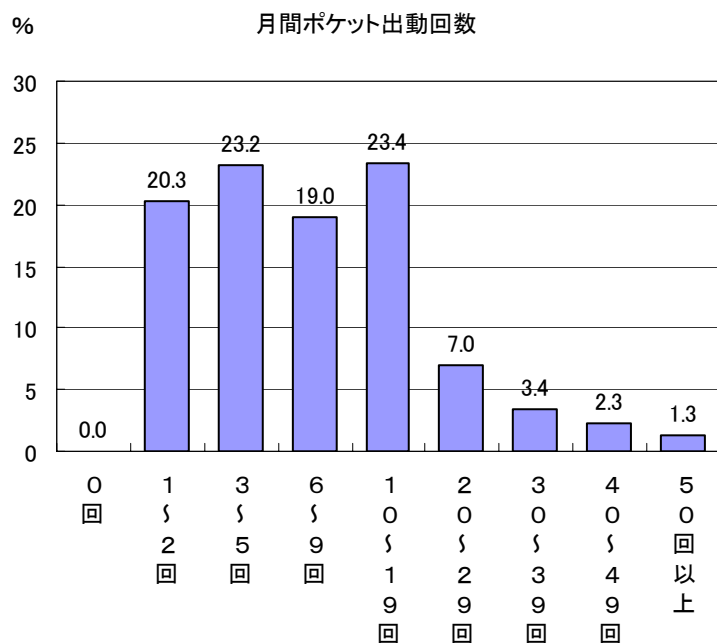
ポケット金額は、平均すると年間428,999円で、約43万円となりました。その内訳は、イベント支出171,916円(約17万円)、普段支出257,083円(約26万円)でした。イベント支出には、お年玉、誕生日、クリスマス、節句や七五三などの行事支出が含まれ、普段支出には、上記以外で食費や日用品といった生活必需品以外の商品、例えばご褒美に買ってあげるお菓子やおもちゃ、祖父母から出してもらった外食代といった支出が入っています。

支出の内訳



○ ポケット出現回数は、一ヶ月平均 10.1 回。これは3日に1度の割合であり、年間約 120 回のプレゼント。

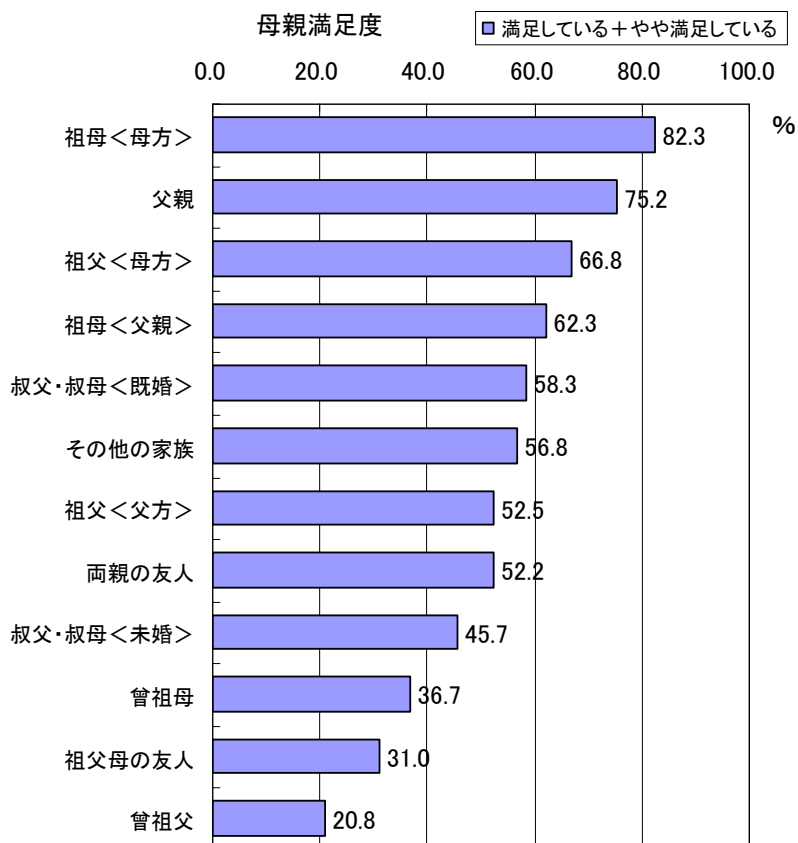
子どもは日頃から3日に1回は何かプレゼントされており、年間にすれば約 120 回も贈り物ももらっているという結果がでました。さらに、月に 31 回以上、つまり毎日もらっている子どもは 7.2% と、14 人に一人ということもわかりました。



○ 複数のポケットの中から「母親が最も満足しているのは、自分の母親」からの贈り物でした。

母親に、「最も満足がいくのは誰からの贈り物か」と尋ねたところ、父親を抜いて、「母方の祖母」がトップになりました。

現在、母系三世代育児といわれ、母親と母方の祖母が一体となって、育児をしていることが多いようです。今回、母方祖母の満足度が高いのも、母親とのコミュニケーションが密で、母親と同じ感覚でモノが選べるのが高い評価につながっていると考えられます。

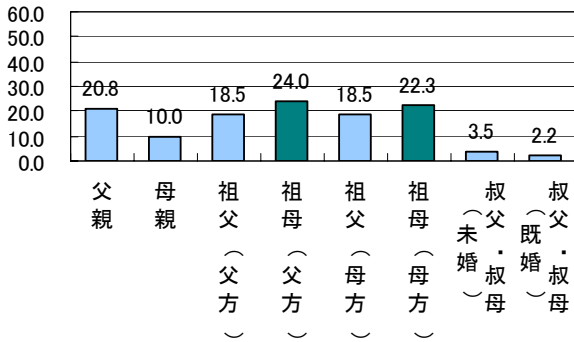


* 母親に、子どもへのプレゼントの理由ごとに、それを理由にして買ってくれるのはどういう人が多いのか選んでもらいました。その結果、下記のような回答が得られました。(複数回答 %)

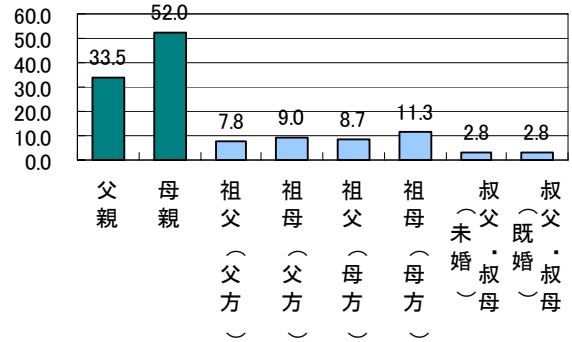
○ 祖父母は「大甘ポケット」。両親は、「辛口ポケット」。

「子どもが欲しがると何でも買ってしまう (大甘ポケット)」祖父母と、「あまり子どものおねだりには応えない (辛口ポケット)」両親との意識の差がみられました。ちなみに「大甘ポケット」第1位は、父方の祖母でした。

子どもが欲しがると何でも買ってしまうのは？



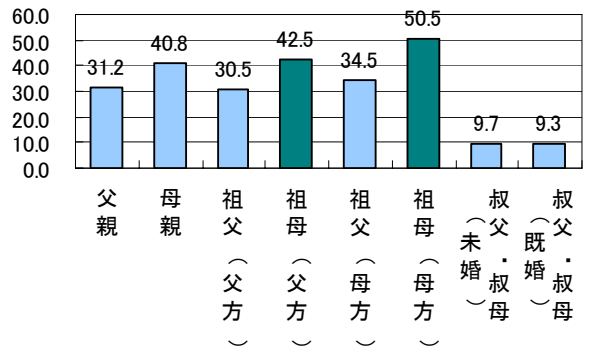
子どもが欲しがってもあまりそれに応えたり、買ったりしないのは？



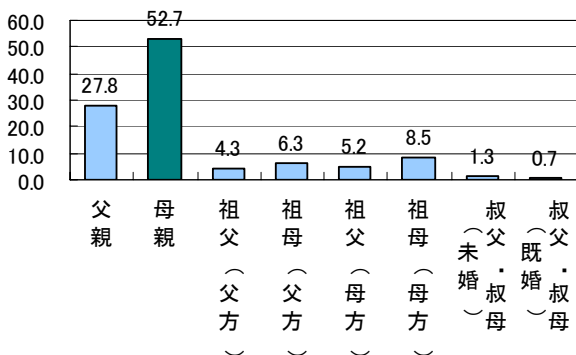
○ 「イベント支出(お祝いポケット)」のトップは、祖母。母親がポケットとなるのは「子どもが頑張ったご褒美に(ご褒美ポケット)」や「子どもの健康や発達のために役立つから(すくすくポケット)」がダントツ。

支出のきっかけとしては、全体的には「誕生日や節句などのお祝い時 (お祝いポケット)」に高い結果が出ています。特に母方・父方の両祖母にその傾向が強く見られます。母親自身は「子どもが頑張ったご褒美に (ご褒美ポケット)」「子どもの健康や発達に役立つから (すくすくポケット)」買うことが多いようです。

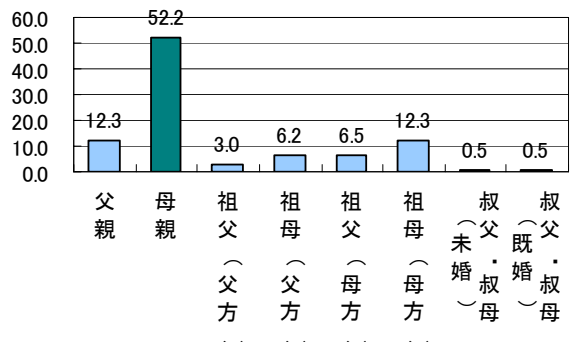
お誕生日や節句などにお祝い事だからと買ってしまうのは？



子どもが頑張ったご褒美にと買ってしまうのは？



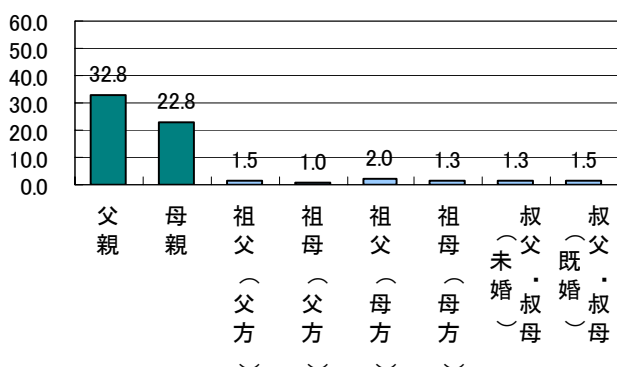
子どもの健康や発達のために役立つからと買ってしまうのは？



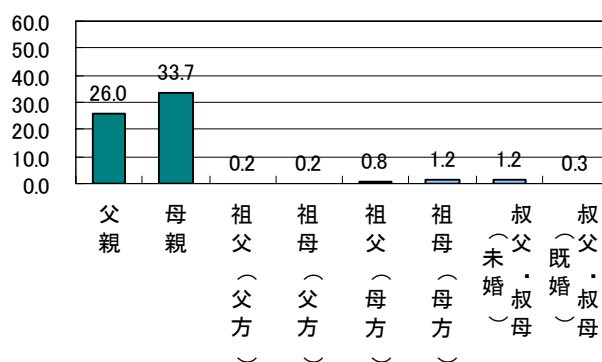
○「大人のほうが子どもと一緒に遊びたくて(遊びたがりポケット)」や、「子どもよりも、大人である本人が欲しくて(自己中ポケット)」といった大人の都合が、ポケットの理由になることもあります。

両親には、プレゼントを買ってしまう理由に「大人のほうが子どもと一緒に遊びたくて(遊びたがりポケット)」や、「子どもよりも、大人である本人が欲しくて(自己中ポケット)」といった理由も高く出現しています。子どもの趣味に合わせる、という「我慢型育児」から、自分の趣味を子どもに伝えるなどして、一緒にの時間をもっと楽しもうという「自分流エンジョイ型育児」をしている親世代が多いようです。

大人のほうが子どもと一緒に遊びたくて
買ってしまうのは？



子どもよりも、大人である本人が欲しくて
買ってしまうのは？



<調査概要>

調査時期：2006年2月～4月

調査地域：日本全国

調査対象：長子が9歳以下の20～40代既婚女性計600名

調査方法：インターネット調査（協力：マクロミル）